キャラクター名
尾崎　翼

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	FHチルドレンB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	命令	衝動	解放	初期侵食率	33 %
出自	安定した家庭	経験	小さな名誉	邂逅	平穏

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0		0	1		1
感覚	0	1	0		4	5
精神	2		0			2
社会	6		0			6

HP	24
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アサルトライフル	射撃	5r+1		9		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【05】実験体/ロストナンバー	P	N		
【23】申し子/セレクティッド	P	N		
ちとせちゃん	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
罪人の枷	12	□	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果： 命中時、ラウンド間対象の達成値ーLv×2								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体	自動	ピュア	
効果： エフェクト使用回数1回回復								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果： C値ーLv								
インターセプト	1	6	イニシアチブ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果： イニシアチブに行動、1回/1S								
濃縮体	1							
効果： 「罪人の枷」のLvを2倍に								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

漫然と続く日常を軽薄な優越のうちに生きるFHチルドレン。どんなことでも努力らしい努力をする前に平均点以上の結果がついてくる体質であるが、情熱も好奇心も持ち合わせず、期待も希望も抱かない。その場の思い付きで、ただなんとなくそうしたいだけでこれまでの半生を送ってきた。上を目指す能力や向上心のある頑張り屋さんたちを知らんぷりしながら。諦観と怠惰を悟られないようほどほどに40〜60点を取ってきたせいで、周りの取り巻きたちもそんな人生を舐めきった中途半端なやつらばかりになったが、彼女にとってはこの替えが利くぬるま湯がなんとも居心地がいいらしい。だって、頑張っても何にもできない無能が目の届く範囲にいてくれるから。

お使い帰りに立ち寄った献血キャンペーン。これがとあるFHセルによって実施されたオーヴァード適性検査であったと気づくのは随分と先のことになった。“Instant Number Less”によって半日もかからずプレーン・オーヴァードに覚醒した彼女は事情を説明されるよりも早く、実技訓練の場に放り出された。

「安心して欲しい。これはただの練習、ただの戦闘訓練だ。目の前の相手を戦闘不能になるまで追い込め。お前の価値を戦いの中で証明できたのなら、ママのところへ帰ってもいいよ」

彼女の胸に浮かんだ言葉は「あー、またこれか」であった。将来のためだから、立派になるためだから、いつかやってくる人生の大一番のためだから。そんなことを宣う誰かさんたちに振り回される。苦労という苦労をしてこなかった自分ならまたなんとかなるだろう。だけど、一生懸命やってもダメダメなあいつらはどうなる？頑張ってないんだからもっとやれ、どうしてよその子はできるのにお前はできないんだ、そうやって見限られる。大人たちはいつも努力しろといって結果を求める。あぁそれならば、柄にもなく頑張ってやろうじゃないか。世界に認められないあいつらが隠れられるくらいには。

彼女の戦闘スタイルは対象の無力化に特化している。放たれた弾丸は骨をひしゃげ関節を割り筋肉をねじ切り脳髄を貫く。レネゲイドの神秘は、その生物の身体を媒介として描かれる。彼女の戦い方はエフェクトの出力装置であるオーヴァードの身体をボロボロに破壊し、リザレクトが追い付くまで何もさせないというものだ。そう、リザレクトが追い付くまでは。彼女が繰りだす正確無比な攻撃は無尽蔵な回復力を持つオーヴァードを一時的に無力化すれど、生命を脅かし、さらなるレネゲイドの活性を促すような殺傷性を持ち合わせていない。殆どの戦闘において、彼女のこの演芸は敵に撤退を促すための脅しをその目的としている。一瞬で身体を蜂の巣にされた敵にこの三味線は効果抜群であるが、引くに引けなくなりこちらに襲い掛かってくる敵に対しても彼女はこのスタイルを崩さない。